



# Market Eyes No.256

## 中国全人代開幕、高まる景気底入れへの期待

大和投資信託

### ■ 中国で全人代が開幕

- 3月5日、中国で全人代（全国人民代表大会）が開幕した。昨年からの中国経済や米中関係の動向に金融市場が一喜一憂してきただけに、今年の全人代は特に注目度が増していた。
- 冒頭に発表された政府活動報告等にサプライズはなかったが、昨年の構造改革を強調した内容から、今年は景気安定化に軸足を移す方針が改めて確認された。

### ■ 成長率目標は6～6.5%

- 今年の成長率目標は「6～6.5%」と表明された。【図表1】目標をレンジで示すのは2016年以降であり、それだけ不確実性が高いことのアラわれだろう。もっとも、事前に政府系シンクタンクである中国社会科学院が6～6.5%の成長率を予測していたこともあり、想定通りである。
- 政府は景気下支えのために財政赤字を拡大させる方針だ。今年の予算では財政赤字が対名目GDP比で2.8%と、昨年の2.6%から引き上げられた。

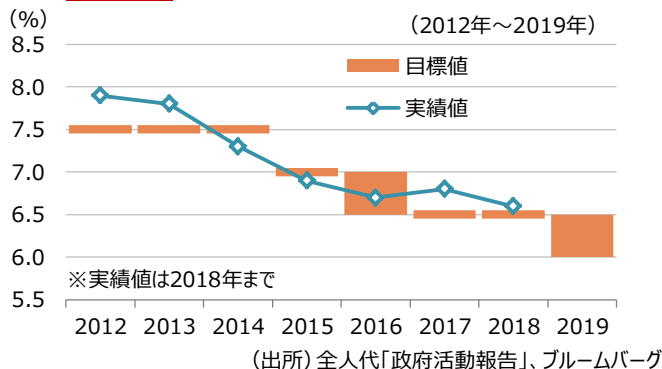
### ■ 製造業と小企業・零細企業の支援に重点

- 企業向けの政策では、製造業と小企業・零細企業の支援に重点が置かれる。これらは米中貿易戦争の影響もあり、特に景況感が悪化している企業である。【図表2】
- 具体的には、増値税（付加価値税）改革を深化させ、製造業の税率を現行の16%から13%に引き下げるなどが発表された。また、中小銀行を対象とした預金準備率がさらに引き下げられ、その分の自由になった資金がすべて民営企業や小企業・零細企業に融資されるようにすることである。【図表3】
- 自動車などの消費刺激策への言及もあったが、まだ策定には至っていないようだ。

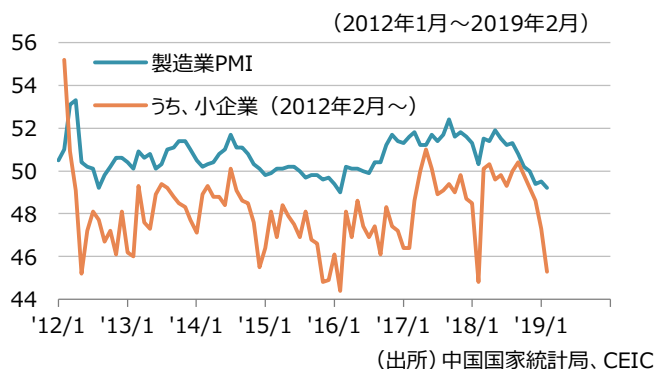
### ■ 米中協議は大詰め、景気底入れ確認へ

- 米中協議は3月1日の期限を延長し、交渉が続いている。一部報道によると、今月下旬にも米中首脳会談を開く方向で調整が進んでいるとのことである。
- 足元では、米中協議の合意期待や全人代での景気刺激策公表への期待などから、世界的に株価が戻りを試している。特に中国株の上昇が顕著である。【図表4】これまでは期待主導で上がってきただけに、今後は、本当に米中が合意するのか、そして中国景気が底入れするのかを見極める時間帯に入ってくるだろう。

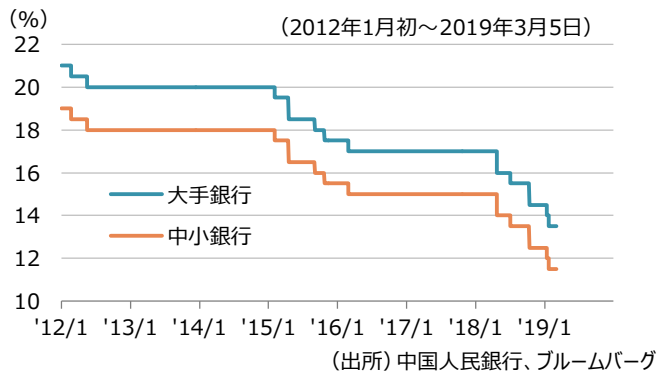
【図表1】 中国の実質GDP成長率（前年比）



【図表2】 中国の製造業PMI



【図表3】 中国の預金準備率



【図表4】 上海総合指数



# ❗ 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

## 注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的に ご負担 いただく 費用	購入時手数料	0~3.24%	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 <b>最大32,400円</b> をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 <b>最大5,000円</b> をご負担いただけます。
信託財産で 間接的に ご負担 いただく 費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 <b>最大1日あたり約70円</b> をご負担いただけます。
	その他の費用・ 手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和投資信託が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会